

実践ノート

看図アプローチを活用した 定時制高校における英作文の授業実践

江草千春¹⁾

EGUSA Chiharu

キーワード：看図アプローチ・定時制高校・英語教育・ビジュアルテキスト

概要

「主体的・対話的で深い学び」、すなわち、アクティブ・ラーニングが、近年の学習指導において強く求められている。この学習指導において、効果的な協同学習の1つの手法が、看図アプローチである(鹿内, 2016)。このアプローチでは、「変換」、「要素関連づけ」、「外挿」の3つの活動を通して、学習者の学びを促進させている。

本稿では、定時制高校において看図アプローチに基づいて実践された、ビジュアルテキストを用いた3つの英語の授業について、詳細に報告し、考察した。結果は、他の看図アプローチにおける授業の実践(茅野・時田, 2021)と同様に、ほとんどの学習者が、楽しく、やりがいがあり、知的好奇心を喚起し、また、挑戦したい、という肯定的な感想を述べていた。

1. はじめに

2018年に告示された高等学校学習指導要領では、育成を目指す資質・能力の三つの柱が明記された。1つ目が、知識及び技能、2つ目が、思考力・判断力・表現力等、3つ目が、学びに向かう力・人間性等、である。また、これらの新しい時代に必要となる資質・能力の育成と学習指導の充実、主体的・対話的で深い学び(「アクティブ・ラーニング」)の視点からの学習過程の改善、新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた教科・科目等の新設や、目標・内容の見直し、改訂の必要性として述べられている(文部科学省, 2018)。また、外国語科(英語教育)においては、前述の育成を目指す資質・能力の3つの柱を伸ばすのに、コミュニケーションを図る資質・能力の

育成や言語活動の重要性が述べられている。とりわけ、コミュニケーションという用語は、1989年告示の中学校学習指導要領と高等学校学習指導要領から現在に至るまで、用いられている(酒井・廣森・吉田, 2018)。

このように、コミュニケーションや言語活動といったキーワードが、英語教育において重要である。しかしながら、2015年度の英語教育実施状況調査(高等学校)によると、生徒の英語による言語活動の状況については、「(授業の)半分以上の時間、言語活動を行っている」と回答した「コミュニケーション英語I」を担当している英語教員が47.9%、「英語表現I」が42.5%であった(文部科学省, 2016)。一方、2019年度の同調査によると、前者が66.7%、後者が50.9%の回答であっ

1) 北海道岩見沢東高等学校

た（文部科学省，2020）。この結果から，授業中における言語活動の割合が少しずつ高まっているとは言えるものの，活発とは言いがたい状況であることがわかる。しかしながら，「主体的・対話的で深い学び」を行うためには，言語活動が遂行されることが必要不可欠であることは言うまでもない。

この言語活動を行うのに，効果的な学習方法が，協同学習である。協同学習とは，スミスによると，「小グループの教育的使用であり，学生が自分自身の学びと学習仲間の学びを最大限にするためにともに学び合う学習法（Smith, 1996）」である。主な学習法としては，ジグソー学習法，LTD（Learning Through Discussion）話し合い学習法，プロジェクト型学習法などがある（安永，2012）。また，近年では，協同学習の新領域として，看図アプローチ，英語教育，看護教育など様々な視点から協同学習の知見が積み重ねられている（日本協同教育学会，2019）。

本稿では，「主体的・対話的で深い学び」を行うのに，効果的な協同学習の1つである看図アプローチを用いた英語授業の実践を試みる。看図アプローチは，ビジュアルテキストの読解を授業の中に取り入れている特徴がある（鹿内，2016）。ビジュアルテキストとは，図・写真・動画・グラフなどのことである。従来，ビジュアルテキストは「見るもの」と考えられていた。しかしながら，看図アプローチでは，ビジュアルテキストを「読むもの」として位置づけた。また，ビジュアルテキストを読み解いていくための処理として，次の3つを仮定している（鹿内，2015）。1つ目が，「変換」であり，ビジュアルテキスト中に描かれている（あるいは写っている）諸要素を言語化する活動である。2つ目が，「要素関連づけ」であり，ビジュアルテキストを構成している諸要素を相互に関連づける活動である。3つ目が，「外挿」であり，ビジュアルテキスト中に表現されている内容を超えて，展開について推量したり結果を予測したりすることにより，発展的に考えていく活動である。

この3つの処理（活動）を用いた，看図アプローチ授業実践が，小学校（仇，2021），中学校（茅野・時田，2021），高等学校（大村・池浦，2020），専門学校（山下，2020），大学（石田・山下・鹿内，2019）などの学校種で，盛んに行われている。看図アプローチは，汎用性の高い授業方法といえる。しかしながら，このアプローチを用いた英語の授業実践は，中学校における実践（茅野・高橋・小笠原・細川，2021）の1つだけである。そこで，本稿では，ビジュアルテキストを用いた高等学校における英語授業の実践を，詳細に報告し，協同学習の1つである看図アプローチの有効性について，考察する。

2. 授業実践

2-1 授業科目・学習者・教材

本稿の授業実践は，A 高等学校（高校）の定時制課程で行われた。2022年3月時点で，1年生が8名，2年生が7名，3年生が15名，4年生が2名，計32名が学んでいる。2021年度入学者の教育課程では，1年生で「コミュニケーション英語基礎」を2単位，2年生で「コミュニケーション英語Ⅰ」を3単位，3年生で「英語表現Ⅰ」を2単位，4年生で「英語表現Ⅰ」を2単位の，計9単位を卒業までに，履修と修得をする必要がある。本稿では，2022年3月に行われた1年生の「コミュニケーション英語基礎」，2年生の「コミュニケーション英語Ⅰ」，そして，3年生の「英語表現Ⅰ」の3つの実践について報告する。

学習者の全体的な特徴としては，中学校で不登校であった学習者が多い。しかしながら，定時制高校に来て，新たな気持ちで努力し，皆勤を目指している学習者もいる。また，基礎・基本を粘り強く学び直し，大学や専門学校などに進学する学習者や，企業に就職して活躍する学習者もいる。さらには，日中働いて，夜間に高校で学ぶ学習者もいる。

このような状況ではあるが，教師の創意工夫を生かした，個に応じたきめ細やかな指導を通して，学習者の能力を最大限に伸ばすことができること

が定時制高校の良さである。

本稿で用いられたビジュアルテキストは、図1である。

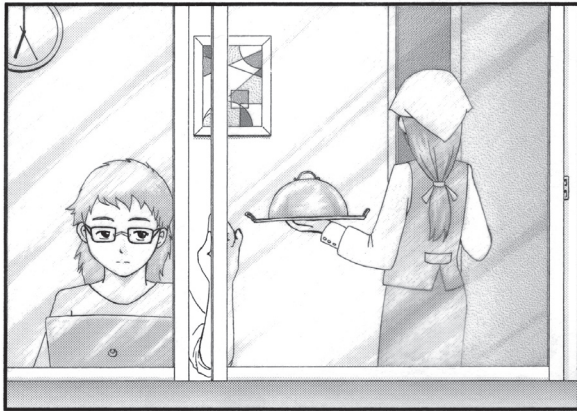


図1 室内光景 ©yuki.ishida

また、本稿で用いられたワークシートは、以下の4つであり、抜粋したものを記す。さらに、このワークシートでは、図1の中央にある絵に着目した時に、学習者が There is/are ~の文型について学習できるように、配慮されている。

____年 名前____

1. ビジュアルテキストに描かれている『もの』を4つ以上書いてください。
(記入欄省略)
2. 1. で描かれていた『もの』を英語に直してください。
(記入欄省略)

ワークシート1

____年 名前____

3. 絵はどこにありますか？答えを5つ日本語で書いてください。
(記入欄省略)
4. 3. で書いたものを英語に直してください。
(記入欄省略)

参考情報

There is a pen on the desk. (机の上に1本のペンがあります。)

There are two apples on the table.
(テーブルの上に2つのリンゴがあります。)

【前置詞のイメージ図】

in, in front of, behind, on, above, near, beside, under, between についてのイメージ図を呈示 (イメージ図は、著作権の関係上省略)

ワークシート2

____年 名前____

5. ビジュアルテキストの左側のお嬢さん (Maki) はどのような行動をしようとしていますか。日本語で考えて書いてください。
(記入欄省略)
6. 5. で書いたものを英語に直してください。
(記入欄省略)

ワークシート3

____年 名前____

7. ビジュアルテキストの授業をやってみてどうでしたか。感想などを自由に書いてください。
(記入欄省略)

ワークシート4

2-2 1年生「コミュニケーション英語基礎」における授業実践

1年生「コミュニケーション英語基礎」における看图アプローチによる授業実践は、2022年3月に2時間計画で実施された。定時制高校では、

1時間の授業時間は45分であるが、学年末考査後の個人面談週間のため、5分短縮の40分で1時間の授業が実施された。以下に、2時間分の授業計画を示す（資料1・2参照）。

資料1 1年生「コミュニケーション英語基礎」における1時間目の授業計画

| | |
|---|-----|
| 出席確認・洋楽の歌詞の音読・洋楽を聞く、もしくは、歌う | 10分 |
| ビジュアルテキストとワークシート1を配付し、名前を書かせる | |
| 個人でビジュアルテキストに描かれている『もの』を4つ以上、日本語で書く | 5分 |
| グループで答えを共有する | |
| 生徒一人に答えを板書させ、全員で共有する | 3分 |
| 1. で描かれている『もの』を英語に訳す | 6分 |
| グループで答えを共有し、生徒全員が答えを板書する | 5分 |
| 板書した英単語を一度、発音練習する | |
| ワークシート2を配付し、名前を書かせる。 | |
| 次に、絵はどこにあるか日本語で書く | 5分 |
| 答えを、生徒それぞれが発表する | 2分 |
| また、There is ~の文章を作成するとき、前置詞のイメージ図を参考にすれば良いと解説する | 2分 |
| 3. で書いたものを英語に訳してくださいと指示した | 2分 |
| ワークシート1, 2とビジュアルテキストを回収 | |
| ※欠席した生徒に、今回出席した生徒のワークシートの答えを記載したワークシートを配付し、次時に学習の差が出ないように配慮する | |

資料2 1年生「コミュニケーション英語基礎」における2時間目の授業計画

| | |
|---|-----|
| 出席確認・洋楽を聞く、もしくは、歌う | 5分 |
| ワークシート1, 2とビジュアルテキストを再配付。前時の復習を行う | 2分 |
| ワークシート3を配付し、5.の左側のお嬢さんはどのような行動をしようとしているか、日本語で考える。お嬢さんについては、男性でもいいし、名前を変えてもいいと指示する | 10分 |
| 答えをペアやグループで共有する | 3分 |
| 続いて、5.で書いたものを英語に、辞書やスマホを使って翻訳する | 10分 |
| 全員の生徒が答えを板書し、答え合わせを行い、板書した英文を音読する | 5分 |
| ワークシート4を配付し、感想を書く | 5分 |
| 全てのワークシートを回収して終了 | |

1時間目では、看図アプローチの3つの活動のうち、ビジュアルテキスト中に描かれている諸要素を言語化する「変換」と、ビジュアルテキストを構成している諸要素を相互に関連づける「要素関連づけ」を行った。この2つの活動を行うのが、ワークシート1と2である。ワークシート1の1.の発問では、「変換」の指示をしている。生徒たちは、図1のビジュアルテキストに描かれている「もの」については、次のように解答していた。

時計 扉 窓 パソコン 絵 壁 めがね
リボン トレー 額縁 ボタン ドア
バンダナ おぼん 人 髪 手 耳
目 □ 時間 男性 女性 スーツ 帽子
髪の毛

また、ワークシート1の2.では、1.で描かれていた「もの」を英語に訳してもらった。生徒たちは次のように解答していた。

clock door window computer
picture wall glasses ribbon tray
button bandana Obon clothes
man picture frame hair hand ear
eye mouth time male woman
suit

続いて、ワークシート2の3.は、「要素関連づけ」を行うための指示である。ここではビジュアルテキスト中の「絵」はどこにあるか書いてもらった。生徒たちは次のように解答していた。

- 時計の右隣にある
- 壁に飾られている
- 男性の後ろにある
- 女性の左隣にある
- 壁にあります
- (絵は) ドアの左側にあります
- (絵は) 時計の右側にあります
- 壁の上側にあります
- 人の後ろにあります
- 壁

- トレーの上
- 中央
- 手の上
- 人の左上
- ドアの左
- 窓の後ろ
- ドアの左側
- 絵は壁にかかっています
- 左の人と右の人の間
- 中央よりも上
- 右の人が持っているクローシェの上
- 壁にかかっている

また、ワークシート2の4. では、上掲の日本語を英語に翻訳してもらった。生徒たちは次のように解答していた。

- There is a on the right side of the clock.
- There is a decorated on the wall.
- On the left side of the door
- It's on the right side of the clock.
- Located on the upper side of the wall.
- There is a picture on the wall.
- There is a picture on the right clock.
- Right side of the clock
- Upper left of the person
- Left of the door
- Above the wall
- Behind the window
- The picture is hanging on the wall.
- There is a picture on the right side of the clock.
- There is a picture on the left side of the door.

2時間目では、看図アプローチの3つの活動の1つである「外挿」を行ってもらった。「外挿」とは、ビジュアルテキスト中に表現されている内容を超えて、展開について推量したり結果を予測したり、発展的に考えていく活動である。「外挿」は、ワークシート3で行ってもらった。ワークシート3の5. では、「ビジュアルテキストでの左側のお嬢さんは、どのような行動をしようとしているか、日本語で書いてください。」と指示した。生徒たちは次のように解答していた。ただし、「お嬢さん」については、男性でもいいし、名前を変えてもいい、と補足説明をした。

- お嬢さんは暖かいから窓を開けた
- お嬢さんはパソコンを使って仕事をして
いた
- お嬢さんはパソコンを使い、美容院約した
- お嬢さんは明日学校を休みたくて、窓を開けて体調を悪くしようとした
- お嬢さんは手を挙げて店員さんと呼ぼう
としている
- 窓を開けようとしている
- 外をながめている
- 外を見てる
- 窓を開けてる
- パソコンを使ってる
- 千円で髪を切ってもらった
- 左手で窓を開けて、換気している。
- 窓を閉めようとしている
- 換気している
- パソコンを触りながら、窓を開けている
か、閉めている
- 少し換気をしようとしている
- 外の天気の様子を見ている
- 暑いので、窓を開けようとしている
- 寒いので窓を閉めようとしている

また、ワークシート3の6. では、5. で書いたものを英語に翻訳してもらった。生徒たちは次のように解答していた。

- Maki opened the window because it was hot.
- Maki worked with a computer.
- Maki wanted to take a break from school tomorrow and tried to open the window and felt sick.
- Maki is trying to raise her hand and call a clerk.
- Maki is trying to open the window.
- Maki is looking out.
- Maki opens the window.
- Maki is using a computer.
- Maki had her hair cut for 1,000 yen.
- Maki opens the windows to ventilate.
- Maki uses a personal computer.
- Maki is using her computer.
- Maki is opening the window.
- Maki is closing the window.

最後に、ワークシート4の7. では、看図アプローチによる授業を体験しての感想などを、自由に記述してもらった。生徒たちは次のように記述していた。

- 楽しかった。色々な意味の取り方があると思った
- 普通
- 楽しかった
- 自分で答えを見つけるのが楽しかった
- 色々な人の想像の意見があって面白かった
- 楽しかった。絵を見て、言葉を作って、それを英文にするのが難しかったが協力してできた
- とても面白いと思いました。英語に戻すのが見つかったので、慣れていきたい

2-3 2年生「コミュニケーション英語Ⅰ」における授業実践

2年生「コミュニケーション英語Ⅰ」における看図アプローチによる授業実践は、2022年3月に3時間計画で実施された。以下に、3時間分の授業計画を示す（資料3・4・5参照）。

資料3 2年生「コミュニケーション英語Ⅰ」における1時間目の授業計画

| | |
|-------------------------------------|-----|
| 出席確認・洋楽の歌詞の音読・洋楽を聞く、もしくは、歌う | 10分 |
| ビジュアルテキストとワークシート1を配付し、名前を書かせる | |
| 個人でビジュアルテキストに描かれている『もの』を4つ以上、日本語で書く | |
| ペアもしくはグループで答えを共有する | 5分 |
| 生徒一人に答えを板書させ、全員で共有する | 3分 |
| 1. で描かれている『もの』を英語に訳す | 6分 |
| ペアもしくはグループで答えを共有し、生徒全員が答えを板書する | 5分 |
| 板書した英単語を一度、発音練習する | |
| 続いて、ワークシート2を配付し、名前を書かせる | |
| 絵はどこにあるか日本語で書く | 7分 |

| | |
|---|----|
| ペアもしくはグループで答えを共有し、答えを、生徒が板書し、全員で共有する | 4分 |
| ワークシート1, 2とビジュアルテキストを回収 | |
| ※欠席した生徒に、今回出席した生徒のワークシートの答えを記載したワークシートを配付し、次時に学習の差が出ないように配慮する | |

資料4 2年生「コミュニケーション英語I」における2時間目の授業計画

| | |
|---|-----|
| 出席確認・洋楽を聞く、もしくは、歌う | 6分 |
| ワークシート1, 2とビジュアルテキストを再配付。前時の復習を行う | 2分 |
| ワークシート2の4.の問題に、辞書やスマホを使いながら取り組み、生徒は、書いた英語を板書する | 15分 |
| ワークシート3を配付し、5.の左側のお嬢さんはどのような行動をしようとしているか、日本語で考える。お嬢さんについては、男性でもいいし、名前を変えてもいいと指示する | 17分 |
| ワークシートを回収して終了 | |

資料5 2年生「コミュニケーション英語I」における3時間目の授業計画

| | |
|--|-----|
| 出席確認・洋楽を聞く、もしくは、歌う | 6分 |
| ワークシート1, 2, 3とビジュアルテキストを再配付。前時の復習を行う | 2分 |
| ワークシート3の6.について取り組む 机間巡視をしながら、アドバイスを行う | 20分 |
| 全員が答えを2文板書する。答え合わせを行い、音読する | 7分 |
| ワークシート4を配付し、感想を書いてもらい、全てのワークシートを回収する | 5分 |

1時間目では、看図アプローチの3つの活動のうち、ビジュアルテキスト中に描かれている諸要素を言語化する「変換」と、ビジュアルテキスト

を構成している諸要素を相互に関連づける「要素関連づけ」を行った。この2つの活動を行うのが、ワークシート1と2である。ワークシート1の1.

の発問では、「変換」の指示をしている。生徒たちは、図1のビジュアルテキストに描かれている「もの」については、次のように解答していた。

時計 窓 絵 女性 パソコン 人
めがね ドア ボタン ヘアバンド 制服
髪の毛 バンダナ 男性 クローシェ 窓
枠 額縁 髪 リボン 三角巾 スイッチ
ヘアゴム 秒針 ウェイトレス おぼん
彼 彼女

また、ワークシート1の2.では、1.で描かれていた「もの」を英語に訳してもらった。生徒たちは次のように解答していた。

clock door window computer
picture wall glasses ribbon
tray button bandana Obon
clothes person picture frame
hair hand ear eye mouth time
male woman suit hairband
uniform man cloche window
frame eyeglasses sling hair tie
waitress he she rubber

続いて、ワークシート2の3.は、「要素関連づけ」を行うための指示である。ここではビジュアルテキスト中の「絵」はどこにあるか書いてもらった。生徒たちは次のように解答していた。

- 絵は左側にあります
- 絵は男性の後ろにあります
- 絵は時計のようにあります
- 絵は壁にかかっています
- 絵はドアの横にあります
- 部屋の中にある
- 上側にある
- 部屋の内側にある
- 眼鏡をかけた人のうしろにある
- 絵は左側にあります

- 絵は男性の後ろにあります
- 絵は時計のようにあります
- 絵は壁にかかっています
- 絵はドアの横にあります
- 部屋の中にある
- 上側にある
- 部屋の内側にある
- 眼鏡をかけた人のうしろにある
- 時計の右側にある
- ドアの左側にある
- 時計の近くにある
- ドアの近くにある
- お客さんの後ろにある
- 店員さんの横にある
- 窓と反対にある
- 窓と並行の位置にあります
- 部屋にある

2時間目では、最初に前時の復習を行い、それからワークシート2の4.では、上掲の日本語を英語に翻訳してもらった。生徒たちは次のように解答していた。

- There is a picture on the wall.
- There is a picture near the door.
- There is a picture near the clock.
- There is a picture beside the clock.
- There is a picture in the room.
- There is a picture on the upper side.
- There is a picture on the right side of the clock.
- There is a picture on the left side of the door.
- There is a picture behind the man.
- There is a picture in the left side.
- There is a picture next to clock.
- There is a picture next to door.
- There is a picture at the top.

- There is a picture behind the customer.

続いて、看图アプローチの3つの活動の1つである「外挿」を行ってもらった。「外挿」とは、ビジュアルテキスト中に表現されている内容を超えて、展開について推量したり結果を予測したり、発展的に考えていく活動である。「外挿」は、ワークシート3で行ってもらった。ワークシート3の5.では、「ビジュアルテキストでの左側のお嬢さんは、どのような行動をしようとしているか、日本語で書いてください。」と指示した。生徒たちは次のように解答していた。ただし、2-2実践と同様、「お嬢さん」については、男性でもいいし、名前を変えてもいい、と補足説明をした。

- まきさんは、窓を開けようとしている
- まきさんはパソコンをしようとしている
- まきさんは換気しようとしている
- まきさんは外を見ようとしている
- まきさんは暑くなったから窓を開けようとしている
- まきさんはパソコンで調べものをしようとしている
- まきはパソコンを使って作業している
- まきは窓に反射した後ろの絵を見ている
- まきは部屋の中にいた虫を外に逃がしている
- まきは寒かったので、窓を閉めた
- まきはルームサービスを頼んだ
- まきが窓を開けたところで、ウエイレスが食べ物を届けに来た
- まきは届けた食べ物を食べながら、パソコンでゲームをした
- 外を見てみると、もう夜になっていた
- 帰る準備をするために、まきは窓を閉めた
- まきは家で今日の出来事を思い返していた

- まきは店員さんと呼んでいる
- 夜の19時で寒かったから、まきは窓を閉めようとしている
- まきさんは死んだ目で全てを悟った

3時間目では、最初に前時の復習を行い、それからワークシート3の6.では、5.で書いたものを英語に翻訳してもらった。生徒たちは次のように解答していた。

- Maki was cold so Maki closed the window.
- Maki asked for room service.
- Maki let the insects in the room escape.
- Maki is working with a personal computer.
- Maki is looking at the picture reflected on the window.
- Maki is looking at the clock reflected on the window.
- Maki is trying to open the window.
- Maki is trying to ventilate.
- Maki is trying to hack.
- Maki ate the meal she received.
- Maki called a clerk.
- Maki looked at the outside scenery.
- Maki realized everything with her dead eyes.
- Maki is trying to open the window.
- Maki is trying to use a computer.
- Maki is trying to ventilate.
- Maki is trying to look out.
- Maki is trying to open the window because it's getting hot.
- Maki is calling a clerk.

- Maki is working on a computer.
- Maki is looking out.
- Maki is trying to close the window because it was cold at 19:00 at night.
- Maki is ventilated.
- Maki is getting hot, so she's trying to open the window.
- When Maki opened the window, the waitress came to deliver food.
- Maki played a game on the computer while eating the food she received.
- When she looked outside, it was already night.
- Maki closed the window to get ready to go home.

に記述してもらった。生徒たちは次のように記述していた。

- 絵に描いてあるものを英語に直すのも楽しかったですが、自分で絵の内容を想像して自由な英文を作るのが楽しかったし、やりがいもありました
- 途中からの参戦だったけど、楽しく出来たと思う
- 難しかったです
- 1つの絵を見て自分なりにいろいろ考えるのが楽しかった
- 楽しかったのですが、少し難しかったです

2-4 3年生「英語表現I」における授業実践

3年生「英語表現I」における看図アプローチによる授業実践は、2022年3月に2時間計画で実施された。以下に、2時間分の授業計画を示す(資料6・7参照)。

最後に、ワークシート4の7. では、看図アプローチによる授業を体験しての感想などを、自由

資料6 3年生「英語表現I」における1時間目の授業計画

| | |
|-------------------------------------|-----|
| 出席確認・洋楽の歌詞の音読・洋楽を聞く、もしくは、歌う | 10分 |
| ビジュアルテキストとワークシート1を配付し、名前を書かせる | |
| 個人でビジュアルテキストに描かれている『もの』を4つ以上、日本語で書く | 5分 |
| グループで答えを共有する | 3分 |
| 生徒の一人が答えを板書し、全員で共有する | |
| 1. で描かれている『もの』を英語に訳す | 6分 |
| グループで答えを共有し、生徒全員が答えを板書する | 5分 |
| ワークシート2を配付し、絵はどこにあるか日本語で書く | 5分 |
| 答えを、生徒それぞれが発表する | 2分 |

| | |
|---|----|
| また、 There is ~の文章を作成するときに、前置詞のイメージ図を参考にすれば良いと解説する | 2分 |
| 3. で書いたものを英語に訳してくださいと指示する | 2分 |
| ワークシート1, 2とビジュアルテキストを回収 | |
| ※欠席した生徒に、今回出席した生徒のワークシートの答えを記載したワークシートを配付し、次時に学習の差が出ないように配慮する | |

資料7 3年生「英語表現I」における2時間目の授業計画

| | |
|---|-----|
| 出席確認・洋楽を聞く、もしくは、歌う | 5分 |
| ワークシート1, 2とビジュアルテキストを再配付。前回、欠席した生徒には、他の生徒が解答を記載したワークシートを配付し、前時の復習を行う | 3分 |
| ワークシート2の4.の問題に取り組み、グループで共有し、3人の生徒が書いた英語を発表する | 8分 |
| ワークシート3を配付し、5.の左側のお嬢さんはどのような行動をしようとしているか、日本語で考える。お嬢さんについては、男性でもいいし、名前を変えてもいいと指示する | 5分 |
| 答えをペアやグループで共有する | 3分 |
| 5. で書いたものを英語に、辞書やスマホを使って翻訳する | 10分 |
| 3人の生徒に書いた英語を発表する | 2分 |
| ワークシート4を配付し、感想を書く | 4分 |
| 全てのワークシートを回収して終了 | |

1時間目では、看図アプローチの3つの活動のうち、ビジュアルテキスト中に描かれている諸要素を言語化する「変換」と、ビジュアルテキストを構成している諸要素を相互に関連づける「要素関連づけ」を行った。この2つの活動を行うのが、ワークシート1と2である。ワークシート1の1.

の発問では、「変換」の指示をしている。生徒たちは、図1のビジュアルテキストに描かれている「もの」については、次のように、解答していた。

ステンドグラス 鍵 壁 空間 扉 ログ
時計 めがね 窓 パソコン 服 額縁
お盆 人間（客と店員） 絵 料理 秒針
三角巾 リボン

また、ワークシート1の2. では、1. で描かれていた「もの」を英語に訳してもらった。生徒たちは次のように解答していた。

glasses sling clock picture
ribbon door window clothes
key PC tray bandana cooking
two girls wall logo room space

続いて、ワークシート2の3. は、「要素関連づけ」を行うための指示である。ここではビジュアルテキストの中の「絵」はどこにあるか書いてもらった。生徒たちは次のように解答していた。

- 空間
- 壁
- 部屋の上の方
- 時計の右隣
- 額縁の中
- 部屋の中
- 影の中
- 壁
- 頭の上
- 陽の差し込む所
- 壁にかかっています
- 時計の右にあります
- ドアの左にあります
- 人と人の間にあります
- 店員の目線ぐらゐの高さにあります
- 時計の右斜め下
- 客が挙げている手の上
- 二人の間
- 扉の隣
- 2人の人の間にあります
- 窓の奥にあります

- 時計と扉の間にあります。
- 人の手の上にあります
- 壁にあります

また、ワークシート2の4. では、上掲の日本語を英語に翻訳してもらった。生徒たちは次のように解答していた。

- space
- wall
- in the picture frame
- There is a picture in the picture frame.
- room's
- of the shadow
- wall
- over head
- where the sun shines
- There is a picture on the wall.
- It's on the right side of the clock.
- It's on the left side of the door.
- It's between people.
- It's about the height of the capacity.
- Diagonally below the right side of the clock
- On the hand that the customer is raising
- It's between two people.
- It's in the back of the window.
- It's between the clock and the door.
- It's on the hands of people.

2時間目では、看図アプローチの3つの活動の1つである「外挿」を行ってもらった。「外挿」とは、ビジュアルテキスト中に表現されている内容を超えて、展開について推量したり結果を予測したり、発展的に考えていく活動である。「外挿」は、ワークシート3で行ってもらった。ワークシート3の5. では、「ビジュアルテキストでの左側のお嬢さんは、どのような行動をしようとしている

か、日本語で書いてください。」と指示した。なお、2-2および2-3実践と同様に、「お嬢さん」については、男性でもいいし、名前を変えてもいい、と補足説明をした。生徒たちは次のように解答していた。

- 空気の入れ換え
- パソコンをいじりながら仕事に取り組んでいる
- 外をながめている
- 国木田独歩は、奥様の作るご飯を待っている
- 独歩は、なんとなく窓を開けたかった。
- 独歩は、テレワークで仕事に励んでいる
- ボビー君は、部屋の空気の入れ替えをしようとしている雰囲気がある
- 窓の反射でお姉さんの事を案外見たかったのもありそう
- スタンド説(右側のお姉さん)※ JoJo(というアニメ)に出てくる
- 外をながめたいと思ったりして…
- 彼女はパソコンで作業している最中に窓を開けている。
- 彼女はパソコンで作業している最中に料理を注文しようとしている。
- 彼女は窓の外にいる知り合いに挨拶をしようとした。
- 料理を受け取る
- 実のところ、まきはハッカー
- まきは店員に感謝する
- 窓を開けようとしている
- 隣の人が出ていくのを見ている
- 窓を閉めようとしている
- パソコンを使っている
- 窓を開ける or 閉める

また、ワークシート3の6. では、5. で書いたものを英語に翻訳してもらった。生徒たちは次のように解答していた。

- Doppo is replacing the air.
- Doppo is working while looking out.
- Doppo is waiting for his wife's food.
- Doppo somehow wanted to open the window.
- Doppo is working hard on telework.
- Bobby replaces the air in the room.
- There is an atmosphere of trying.
- She is opening the window while working on the computer.
- She is trying to order food while working on the computer.
- She tried to say hello to an acquaintance outside the window.
- Maki receives food.
- In fact, Maki is a hacker.
- Maki thanks to the clerk.
- Maki is trying to open the window.
- Maki is watching the person next to me, and she goes out.
- Maki uses a personal computer.
- Maki is trying to close the window.
- Maki is opening the window or closing the window.

最後に、ワークシート4の7. では、看图アプローチによる授業を体験しての感想などを、自由に記述してもらった。生徒たちは次のように記述していた。

- 色々と考えさせられた感じです。イラストもすごくお上手で、また、このような授業をやってみたいなんて思いました。Makiという言い方については、男だと直感で思いました。メガネの所やどこか真面目な所が国木田独歩に似てるなど、最後に思いました
- 今年の授業はとても楽しかったです。洋楽など初めて知った時も自分も興味を持ち始めました。先生のおかげでもあります。今日の授

業は考える事が多かったなあと思いました
が、自分の好きなアニメなどにも表現を
できたので良かったと思いました。困みに、お
すすめの映画はホラーやグロが自分は好きです

- 自分で書いた行動を英語で表現するのが難
しかったので、せめて単語だけでもわかるよ
うになりたいと思いました
- (利き手の右が怪我をしているため、) 左で
書くのがきつかった。楽しかった
- 人によってとらえ方が変わって、自分が思
いつかなかったことも知れて面白かったです
- 腹痛がひどくトイレに行ってしまいました
が、色々な考察ができ楽しかったです
- 楽しかった。みんなが何をしゃべっているか、
わかるぐらいの理解力がほしい

3. 考察

ここでは、前節の3つの授業実践のワークシ
ートに記述されていたデータに基づいて、看図ア
プローチによる実践の感想と、ワークシートに書か
れた英語について、考察する。

まず、ワークシート4による7.の発問「ビジュ
アルテキストの授業をやってみてどうでしたか。
感想などを自由に書いてください」について考察
する。これについては、3つの授業実践いずれも、
「楽しい」、「自分で答えをみつけるのが楽しか
った」、「やりがいがあった」、「人によってとらえ
方が変わって、自分が思いつかなかったことも知
れて面白かった」と肯定的な感想が非常に多
かった。

学年別で見ると、1年生での感想では、「楽
しかった」、「色々な人の想像の意見があっ
て面白かった」、「楽しかった。絵を見て言葉
を作って、それを英文にするのが難しかったが
協力してできた」という素直な感想が多いのが
印象的であった。2年生の感想では、「絵に書
いてあるものを英語に直すのも楽しかった
ですが、自分で絵の内容を想像して自由な英文
を作るのが楽しかったし、やりがいもあり
ました」、「1つの絵を見て自分なりに
いろいろ考えるのが楽しかった」、「楽し
かったですが、少し難しかったです」、「難
しかったです」

という楽しいなりに、やりがいや、難しさ
を感じた、という感想もあった。3年生での
感想では、「色々と考えさせられた感じ
です。イラストもすごくお上手で、また、
このような授業をやってみたいなんて思
いました」、「人によってとらえ方が
変わって、自分が思いつかなかったこと
も知れて面白かったです」、「楽しか
った。みんなが何をしゃべっているか、
わかるぐらいの理解力がほしい」とい
う前向きな感想とともに、ビジュアル
テキストを用いた授業をもっとやっ
てみたい、英語の力をもっと高めたい、
という意欲的な感想も多かった。また、
ワークシート3による5.の発問「ビ
ジュアルテキストの左側のお嬢さんはど
のような行動をしようとしていますか。
日本語で考えて書いてください」につ
いては、学習者がアニメのキャラクター
に見立てて表現していたのが印象
的であった。

このように、本稿における授業実践の
感想の記述データから、協同学習の1つ
である看図アプローチの有効性が確認
することができた。また、他の授業実
践の結果(茅野・時田, 2021; 溝上・
吾妻・鹿内, 2016; 大村・池浦, 2020)
からも同様な結果を得ていることから、
看図アプローチの汎用性の高さを、示
唆することができる。

次に、ワークシートに書かれた英語
について考察する。前節でも述べたよ
うに、看図アプローチでは、「変換」「
要素関連づけ」「外挿」の3つの活
動がある。「変換」では、clock, win
dow, womanのように、ビジュアル
テキストに描かれている「もの」を
言語化していた。個人思考では、思
いつかなかったが、ペアやグループ
で考えを共有することで picture
frame, logoなどの教師が想定
しない解答もあった。また、「要素
関連づけ」では、ワークシート2に、
学習者が英文を書きやすいように、
There is/are ~の例文や前置
詞のイメージ図を記載してあった
ので、それも参考にしながら、英
文を作成していた。学年によっ
ては、例えば、2年生の英文は、
すべての解答が There is ~の
文型で書かれていた。一方、3
年生の英文は、主語、動詞を
含む1文レベルのものだ

けではなく、単語だけや、前置詞句だけの記述もあり、学年による個性が感じられた。さらに、「外挿」では、「変換」や「要素関連づけ」で書かれた語彙や英文を用いながら、現在進行形、後置修飾、関係代名詞など様々な文法を使いながら英文を作成していた。

4. おわりに

本稿では、ビジュアルテキスト「室内光景」を用いて看図アプローチに基づく英作文の3つの授業実践を、定時制高校で行った。その結果、3つの実践とも、ほとんどの学習者が、やりがいがあり、様々な表現ができ、楽しく、次回も挑戦してみたい、という肯定的な感想を述べていた。そして、他の授業実践と同様に、看図アプローチの有効性を確認することができた。しかしながら、このアプローチにおける高校での英語の実践は、初めてであるので、他のビジュアルテキストでの実践を行い、さらなる研究成果が待たれる。

今後の課題としては、現行の学習指導要領によると、育成を目指す資質・能力の1つに、思考力・判断力・表現力等の育成がある。この評価に関して、鹿内（2022）は、中央教育審議会教育課程部会 言語能力の向上に関する特別チーム（2016）を参考にしながら、9つの評価項目により、思考力・判断力・表現力等の観点別評価を試みている。また、英語教育学や第2言語習得研究の分野においても、英語力を測定する時に、流暢さ、正確さ、複雑さの尺度に基づいた測定方法を用いて、観点別評価を行っている研究もある（江草, 2005a; 2005b; 2021）。そのため、本稿で行った授業実践についても、前述した評価項目や測定方法を用いて観点別評価を行うことにより、「主体的・対話的で深い学び」から授業を構成したり、改善したりしながら、「指導と評価の一体化」の推進に寄与することができる、と考えられる。

謝辞

本稿をまとめるにあたり、鹿内信善先生に、貴重なご助言、及びご示唆を頂きました。また、石田ゆき先生には、ビジュアルテキストの使用の許可を頂きました。深く感謝申し上げます。

引用・参考文献

- 茅野徑子・高橋桃子・小笠原明子・細川亜紀（2021）.「世界へ飛び出せ、グローバルきゅうちゃん！－ストーリーテラーに挑戦の巻－」『全国看図アプローチ研究会研究誌』9, 3-19.
- 茅野徑子・時田優奈（2021）.「いつでも、どこでも、だれでも、だれとでもできる看図作文指導－「きゅうちゃん、たぶんこうだったんじゃないか劇場」－」『全国看図アプローチ研究会研究誌』6, 3-15.
- 中央教育審議会教育課程部会 言語能力の向上に関する特別チーム（2016）.「言語能力の向上に関する特別チームにおける審議の取りまとめ」 Retrieved from https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/056/sonota/1377098.htm（2022年5月1日）.
- 江草千春（2005a）.「高等学校英語科「オーラル・コミュニケーション」における絶対評価への一試案－コミュニケーションタスクを様々な測定方法から観点別評価して－」『英語教育』開隆堂 57/4, 12-16.
- 江草千春（2005b）.「へき地校高校生英語学習者における英語タスク活動の縦断的研究－コミュニケーションタスクの実践と評価－」『へき地教育研究』60, 55-62.
- 江草千春（2021）.「高等学校教科書「英語コミュニケーションⅠ」におけるタスク分析－主体的・対話的で深い学びと指導と評価の一体化を目指して－」『アメリカス研究』26, 143-161.
- 石田ゆき・山下雅佳実・鹿内信善（2019）.「創造性を育むツールとしての看図アプローチ－

- 絵本づくり授業実践の報告」『全国看図アプローチ研究会研究誌』1, 2-15.
- 仇志美 (2022). 「中国における看図作文授業の改善ー日中教育比較を通してー」『全国看図アプローチ研究会研究誌』10, 3-18.
- 溝上広樹・吾妻行雄・鹿内信善 (2016). 「高校生物における看図アプローチを利用した授業実践ーユニからその生態と東日本大震災を考えるー」『福岡女学院大学大学院紀要・発達教育学』1, 21-25.
- 文部科学省 (2016). 「平成 27 年度 英語教育実施状況調査 (高等学校) の結果概要」
Retrieved from
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2016/04/05/1369254_3_1.pdf
(2022 年 4 月 22 日) .
- 文部科学省 (2018). 『高等学校学習指導要領 (平成 30 年告示)』 .
- 文部科学省 (2020). 「令和元年度「英語教育実施状況調査」概要」
Retrieved from
https://www.mext.go.jp/content/20200715-mxt_kyoiku01-000008761_2.pdf
(2022 年 4 月 22 日) .
- 日本協同教育学会 (2019). 『日本の協同学習』 ナカニシヤ出版 .
- 大村勅夫・池浦恵里 (2020). 「看図アプローチ協同学習を用いた古典読解単元の考察その 1 「きゅうちゃん」を用いて『伊勢物語』第 9 段を内容把握するー」『全国看図アプローチ研究会研究誌』4, 14-23.
- 酒井英樹・廣森友人・吉田達弘 (編) (2018). 『「学ぶ・教える・考える」ための実践的英語科教育法』大修館書店 .
- 鹿内信善 (2015). 『改訂増補 協同学習ツールのつくり方いかし方ー看図アプローチで育てる学びの力ー』ナカニシヤ出版 .
- 鹿内信善 (2016). 「看図アプローチによる授業づくり」杉江修治 (編) 『協同学習がつくるアクティブ・ラーニング』 (pp.99-106). 明治図書出版 .
- 鹿内信善 (2022). 「看図アプローチで読み解く協同教育・協同学習」『協同と教育』17, 7-20.
- Smith, K. A. (1996). Cooperative learning: “group work” work. In T. E. Sutherland & C. C. Bonwell (Eds.), Using active learning in college classes: A range of options for faculty (pp.71-82). New Directions for Teaching and Learning, No 67. San Francisco: Jossey-Bass.
- 山下雅佳実 (2020). 「小児看護学教育における「看図アプローチ」を基盤とした教材開発・授業開発」『全国看図アプローチ研究会研究誌』3, 3-15.
- 安永悟 (2012). 『活動性を高める授業づくりー協同学習のすすめ』医学書院 .

2022 年 5 月 4 日受付

2022 年 5 月 28 日受理